

日本最西端の学校と地域紹介

～与那国町立久部良中学校～



日本で一番西にある学校

本校は、1955年創立の歴史と伝統ある学校である。正門から入ってすぐに、校訓である『世界雄飛』の石碑がある。元沖縄県知事で本地区出身者の西銘順治氏の揮毫によるもので、1981年に建立された。本校は、日本で一番西にある学校で、晴れた日は、年に数回台湾が見える。素晴らしい自然環境の中、生徒はすくすくと育っている。



【本校の特色ある学校行事・地域行事等】



【洋上体験】



【町少年陸上大会】



【職場体験学習】



【金比羅宮祭】



【体育祭】



【修学旅行(台湾)】



【文化祭】



【ふれあい給食】

【久部良地区】



日本最西端の島である与那国島には、祖納(そない)、久部良(くぶら)、比川(ひがわ)と3つの集落がある。本校がある「久部良地区」は、空港から車で約10分、島の西部に位置し、漁業が盛んである。旧暦5月4日にはハーリー祭が盛大に行われる。近海でのカジキの漁獲高日本一。保育所、幼稚園、郵便局、商店、宿泊施設、飲食店等がある。(診療所、役場は祖納地区にある)。日本で最後に沈む夕陽が見られることで知られる場所である。

